

患者様からのご意見・ご要望

日々患者さまより頂きましたご意見・ご要望に関しては関連する部署の責任者に報告しております。間然すべき点や取り入れたほうが良いことなど出来る限り対応したいと考えております。ご意見の中で特に危険なこと、多くの方が希望していることを優先に対応したいと考えております。もちろん少数意見も対応させて頂いております。

前回に引き続き、今までのご意見の中で多くいただいたものや最近よくいただくご意見・ご要望を中心に改善策を掲載させていただきます。掲載されていない内容についても対応しておりますのでご了承ください。

今後もお気付きの点やご要望をお聞かせください。

ご意見・ご要望	改善等
エレベーター開閉ボタンについて	『エレベーターの開閉ボタンが分かりにくく、開いてあげようと思っても間違えて閉めてしまうことがある。』とのご意見をいただきました。 エレベーター内には< > ・ > <マークで開閉を表示しております。これは、文字の読めない方にも視覚的に意味を理解していただくのもので、院内の他のサイン(案内表示)等にも採用しております。しかしながら、開閉の誤操作によって事故になることが考えられることから、「開」(赤文字)「閉」(黒文字)シールを貼らせて頂きました。
ごみ箱の設置について	『シャワー室にごみ箱がないため、腕につけたアルコール採血綿が放置されています。』とのご意見をいただきました。 病院内において、血液のついた綿は医療廃棄物として分類されます。医療廃棄物については管理を徹底する必要があることから、色々な場所にそれらのごみ箱を点在させることは望ましくありません。血液が付着したものは、一般用のごみ箱に処分せず、病棟ではナースステーション、外来は所定の医療廃棄物用ごみ箱に処分していただけますようご協力ください。
トイレトペーパーについて	『トイレトペーパーが硬く、ごわごわしていて使い心地がわるい。肌触りが悪い。』『トイレトペーパーをやわらかめの質のものに交換していただきたい』他トイレトペーパーに関する多くの意見をいただきました。 現在、トイレトペーパーの変更を行う為に比較検討を行なっています。ご要望に沿えるものを採用させて頂きたいと思っておりますので、今しばらくお待ちください。
初診記載台の椅子について	『初診時、問診票記載台の椅子が重い、動かしにくい』とのご意見をいただきました。 今までの黒い重たい椅子から、軽い黄緑色の椅子に交換させて頂きました。ご意見ありがとうございました。
スタッフのマナーについて	『CTの検査の担当者がヘビースモーカーの人で、手ににおいが付いていて不愉快でした。』とのご意見をいただきました。 患者様と接する喫煙者(院内スタッフ)に対しては、煙草の匂い等に対する配慮をするよう指導いたしました。
施錠時の確認について	『西口付近にいた際にドアを締め出されました。仕方なくスロープを渡って入館しました。目の前にいたのに、一言声をかけてほしい』とのご意見をいただきました。 施錠の際には、周囲に患者さまをはじめ、お見舞いに来られた方がいないかを確認するよう徹底いたしました。なお、中央棟正面玄関・西口については平日 18 時、土曜 14 時に施錠いたしますので、それ以外の時間帯は、地下 1 階の時間外口をご利用ください。
入院患者さまの外来診察について(待ち時間について)	『外来を受診時に、入院患者さんが診察に来ているのは何故か。外来ではただでさえ待たされていると言うのに』とのご意見をいただきました。 原則として、入院患者さまは、外来患者様の少ない午後には診察を受ける運用となっております。しかしながら、診療科や曜日によっては午後の診療が出来ない等のことから、午前中の診察を行う場合があります。患者さまには、予約診療が徹底出来ていないことからご迷惑をお掛けしております。 現在、外来に関する問題点については、『外来診療部門運営委員会』を設置し検討しております。特に待ち時間については、最重要項目となっておりますよう改善できるよう努力しております。待ち時間については様々なことが原因で発生しており、診療科によっても理由が異なっていることから、改善できるまでお時間がかかると思いますが、ご理解していただきますようお願いいたします。

編集後記

晩秋の候、皆様いかがおすごでしょうか
風邪に罹患していませんか？
人は1年に平均5回風邪に罹患するとの統計があります。冬は乾燥などにより鼻粘膜に存在する線毛機能が低下しウイルスが体内に侵入しやすくなります。
私は大丈夫と思われている方も予防が大切。予防法として一般的な手洗い・うがい・保湿以外にも1.適度な有酸素運動(ジョギング20分以上など)を継続して行う。2.睡眠は6時間以上。3.たばこを吸わない。(受動喫煙にも注意)4.positiveな情動を維持する。5.趣味に熱中する。6.人ごみを避ける。などが発症予防に有効です。
規則正しい生活を心がけましょう。

広報委員会 委員 門倉 義幸

北部病院だより 第14号
平成15年11月1日発行
発行責任者 田口 進(昭和大学横浜市北部病院長)
編集責任者 島田 誠(広報委員会 委員長)
発行 昭和大学横浜市北部病院
〒224-8503 横浜市都筑区茅ヶ崎中央 35-1
電話 045-949-7000(代表)
URL : <http://www10.showa-u.ac.jp/~hokubu/>
北部病院ホームページにて最新・過去の『病院だより』がダウンロードできます。

北部病院だより 第14号

第14号【2003/11/01 発行】
発行者：昭和大学横浜市北部病院



今年も公園の池で会えました 都筑中央公園

巻頭言

「臨床検査ってなに？」
臨床検査科科长・助教授 木村 聡

イベント情報

消化器センター国際セミナー(新横浜)
北部病院市民向公開講座(西棟4階講堂)

病院からのお知らせ

医師の配属・異動・退職
診療統計
外来担当表
患者様からのご意見・ご要望

巻頭言 『臨床検査ってなに？』

採血、検尿、心電図。病院ではいろんな検査を受けますね。貧血傾向だ、肝機能が悪い、糖尿病の予備軍だ、コレステロールが高い、結核菌が出た……。これらは血液や尿、喀痰などの生体物質(病院では「検体」と呼びます)を調べ、さらに心電図をとったりして診断されています。これらを分析するのが「臨床検査」です。ところでこの臨床検査、誰がやっているのかご存知ですか？

答えはお医者さんでも看護師さんでも薬剤師さんでもありません。「臨床検査技師」という、国家資格をもったプロ集団です。検査結果は、ご存知のように病気の診断、治療法の決定など、命に関わる重大な影響を与えます。当院では平均して毎日患者さん600人分、のべ6000項目の検体検査と、約300件の採血、約1500件の生理・超音波検査を行っています。取り違えや測定ミスは一つたりとも許されません。24時間365日、最先端の分析技術と細心の努力で奉仕しているのが、我々臨床検査部スタッフです。

当院には41人の臨床検査技師と、これをとりまとめる臨床検査専門の医師(筆者)がおります。血液や尿の検査は、休日夜間はもちろんのこと、盆正月も休まず実施しています。検体検査を例にとりますと、現在実施可能な検査項目はゆうに1000を超えます。これらを正確に測定してゆくのが我々の仕事ですが、困ったことがあります。膨大な検査項目それぞれに対し、専門の試薬・分析機器メーカーが国内外にひしめいており、この中から最も正確で安定供給が保証され、かつ経済効率が良いものを選ばなければなりません。ところが、多くの項目で各社各様の方式がとられているため、なかなか同じデータレベルにならない問題があるのです。市場原理のなせる技、メーカーさんは「自分のシステムこそ一番」と譲ってはくれないのです。一例をあげましょう。ある病院で「異常値だ」と言われた検査が、別な病院で「正常範囲内」と言われたご経験はないでしょうか？もちろん患者さんの病状が良くなったという事も考えられますが、測定機器が異なっていたため、という話もあるのです。同じ検査項目でも測定方法が異なる場合、高いのか低いのか比較するのは容易ではありません。これらの基準を世界的に統一すべく、私たち臨床検査技師や専門医は努力を重ねており、すでに多くの項目で統一基準ができています。

さて血液や尿を測定するだけが検査部の仕事ではありません。このほかにも臨床検査部の扱範囲は多岐に渡っています。輸血を受けるとき、日本赤十字社から送られてきた血液が患者さまに適合するか判定する「輸血部門」(血液型というのは、ABOやRhだけではないのです！)、心電図や肺活量、聴力など、患者さんに直接触れる検査を行う「生理機能部門」、超音波(エコー)で心臓やお腹の中を痛めずに検査する「超音波部門」などなど。以前このコラムで病理の先生からお話があった、「病理部門」もお手伝いしています。病理では手術や内視鏡で取り出した体の一部を、顕微鏡で見ることができるよう、染色などさまざまな加工を施すのが臨床検査技師のお仕事です。それだけではありません。臨床検査部では、院内すべての科から検査を受付けています。複数の診療科にまたがると問題、たとえば院内感染が疑われるようなことがあれば、すぐに飛んでいって調査し、対策を提案するのも臨床検査部の仕事です。

このように、どの部署も、患者さんの苦痛が少しでも減るよう、待ち時間を少なくできるように、工夫を重ねています。いわば緑の下の力持ち。2階の採血処置室で採血をしているのが、我々臨床検査部のスタッフです。こんど血液検査を受けられる時には、お気軽に声をかけてください。



臨床検査科 科長
木村 聡
臨床検査専門医
感染症コントロール医師

北部イベント

大腸IIc研究会国際セミナー

新横浜プリンスホテル



本院消化器センター長工藤進英教授が代表世話人をつとめる第13回大腸IIc研究会国際消化管セミナーが9月20日(土)、21日(日)の両日、新横浜プリンスホテルを会場に国内外から多数の大腸癌専門家を迎えて開催されました。

今年、米国、コロンビア大学内科のProf. Charles Lightdale先生とフランス、リヨン大学内科のProf. Thierry Ponchon先生をお招きし、特別講演、ライブデモンストレーションをしていただきました。初日には工藤教授をはじめとする第一線の先生方のライブデモンストレーションを北部病院の内視教室から学会会場へ中継され大きな反響を呼びました。

大腸IIcとは陥凹型早期大腸癌の事で、大腸におけるIIc病変は、工藤教授が多数発見し報告して以来、わが国のみならず世界でも注目されるようになりました。大腸IIc研究会が発足し、今年で13年になりますが、この間に大腸癌を早期診断し早期治療を行うことの重要性は年々高まっています。早期大腸癌の診断と治療の最先端の研究発表の場として評価を得ています。

北部病院市民向公開講座

西棟4階 講堂



10月25日(土)に西棟4階診療放射線専門学校講堂におきまして、市民向け公開講座を開催いたしました。今回は、消化器センター竹内司医師による『C型肝炎とは? -その基本と治療について-』、同榎田博史医師による『C型肝炎はなぜこわいのか? -その合併症と治療について-』および内科(緩和ケア担当)高宮有介医師、緩和ケア病棟責任者澤田祐子看護師による『緩和ケアってな~に?』を演題に行いました。

当日は、多数の方のご出席があり、病気に関する理解をより深めていただけた機会となりました。講演会終了後もロビーにて談話される光景も見られ、専門分野の医師と直接話せる貴重な機会と好評をいただきました。

今後も定期的に講演会開催の企画を進めていく予定です。詳細が確定いたしましたら、お知らせしますのでお待ちください。ちなみに次回は来年1月頃に『小児疾患に関すること』、『糖尿病に関すること』で開催の予定です。ご期待ください。

ボランティア活動の紹介

平成13年11月から本院のボランティア活動は3名の方で外来部門からスタート致しました。いずれも近隣住民の方で北部病院が開院するのを待って、自らボランティアとして活躍できる場があるか門を叩いてくださった方たちです。今年でまる2年を迎え、活動メンバーは外来9名、痴呆病棟2名の11名になり、外来ではほぼ毎日、必ず1名~2名の方が1階と2階のフロアを笑顔で、外来でお困りの様々な患者様のニーズに対応して下さっています。

外来での活動では、場所の案内・車椅子の介助・再診受付機、自動会計機の取り扱い援助、親が受診中の子供の見守りなどを行い、痴呆病棟においては、患者様の話し相手や見守りが主な活動です。

ボランティアさんの視線は患者様の視線でもあるので、日頃慣れてしまっている職員では気付かないことをたくさん発見して院内の環境の改善に大きな役割を果たしてくれています。

次号から、ボランティアさんの紹介をいたします。是非ご覧ください。



患者さまへのお知らせ・お願い

休診のお知らせ

11月15日(土)は昭和大学創立記念日のため休診となります。

医師の配属・異動・退職

新規配属医師

異動・退職医師 10/31付【9/1~10/31】

小坂 誠 (麻酔科)

川崎医科大学 昭和54年卒 (10月1日付採用)

菅谷 聡 (消化器センター) 梅里 和哉 (消化器センター)

診療統計

2003年9月統計データ()内は1日平均

外来患者数 25,733人(1,118.8人)、入院患者数 16,676人(555.9人)、救急車搬送件数 274人(9.1人)、手術件数 350件(17.5件)

外来担当表

【2003/11/01 改定】

外来予定は都合により変更する場合がございますのでご了承ください。

	月		火		水		木		金		土
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前
呼吸器センター	門倉光隆(初再診)	笠原慶太(初再診)	鹿間裕介(再診)	大塚寿々子(初診)	西片 光(初診)	医局員(初診)	鹿間裕介(初再診)	神尾徳人(再診)	門倉光隆(再診)	松田正典(初診)	医局員(初診)
	北見明彦(再)	中島宏昭(初)			中神和清(再診)		笠原慶太(初再診)	笠原慶太(初再診)	笠原慶太(初再診)	大塚寿々子(再診)	
消化器センター(28-2)	深見悟生	田中淳一			木暮悦子		井上晴洋	薄井信介	大塚和朗	大塚和朗	為我井/小池
消化器センター(28-3)	竹内 司	竹内 司	大塚和朗	大塚和朗	深見悟生	深見悟生	出口義雄	永田浩一	為我井芳郎		日高英二
消化器センター(28-5)	佐々木廣仁		加藤博久(偶)	辰川豊志子	大谷/大前		笹島圭太	笹島圭太			里館 均
消化器センター(28-6)	加澤玉恵	加澤玉恵	榎田博史	倉橋利徳	小幡まこと	小幡まこと	竹内 司	加藤博久(偶)	倉橋利徳	倉橋利徳	佐藤(隔週)
消化器センター(28-7)	山村冬彦	山村冬彦	工藤進英	工藤進英	石田文生	山口祐二	榎田博史	山村冬彦	遠藤俊吾	遠藤俊吾	佐竹/大森
					岩下方彰(偶)			工藤進英(特殊診)			
循環器センター	緒方信彦	手取屋岳夫	落合正彦		小原千明	沖 淳義	落合正彦	佐久間浩子	岡林宏明	加藤源太郎	医局員
	高垣昌巳						荒木 浩			林宗博(偶)	
精神神経科(初診)	工藤行夫		吉益晴夫		秋元洋一	松丸憲太郎(物忘れ外来)	西岡玄太郎		野崎伸次	古田伸夫(物忘れ外来)	田邊祐二
精神神経科(再診)	田邊祐二		秋元洋一		野崎伸次		吉益晴夫		工藤行夫		松丸憲太郎
精神神経科(再診)			佐野奈々		古田伸夫		伊川太朗		西岡玄太郎		田中聡史
精神神経科(再予)					医局員						医局員
内科(緩和ケア)予約のみ		坂下暁子		高宮有介				高宮有介			
内科(23-2)	富田高重(内科消化器)	富田高重(内科消化器)	富田高重(内科消化器)		菊嶋修示(循環器不整脈)	菊嶋修示(循環器不整脈)			菊嶋修示(循環器不整脈)		菊嶋修示(循環器不整脈)
内科(23-3)	衣笠えり子(内科腎臓)		衣笠えり子(内科腎臓)		衣笠えり子(内科腎臓)	衣笠えり子(内科腎臓)	坂下暁子(内科血液)				川崎仁志(内科神経)
内科(23-5)	坂下暁子(内科血液)	高橋 健(内科腎臓)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	三代川章雄(内科消化器)	三代川章雄(内科消化器)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	福井俊哉(内科神経)	三代川章雄(内科消化器)
内科(25-2)	佐藤 温(内科消化器)	佐藤 温(内科消化器)	佐藤 温(内科消化器)		木村 聡(内科・感染症)				佐藤 温(内科消化器)		医局員
内科(25-3)	田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)	田口 進(内科消化器)		田口 進(内科消化器)		田口 進(内科消化器)		田口 進(内科消化器)		田口 進(内科消化器)
内科(25-5)	荏原 徹(糖尿病、内分泌)		嶋田 顕(内科消化器)	嶋田 顕(内科消化器)	荏原 徹(糖尿病、内分泌)		嶋田 顕(内科消化器)	嶋田 顕(内科消化器)	荏原 徹(糖尿病、内分泌)		荏原 徹(糖尿病、内分泌)
内科(25-6)		三上哲弥(内科消化器)		渡邊浩之(一般内科)			緒方浩顕(内科腎臓)	三上哲弥(内科消化器)	渡邊浩之(一般内科)		緒方浩顕(内科腎臓)
内科(25-7)			辻 正富(糖尿病、内分泌)	辻 正富(糖尿病、内分泌)	伊藤英利(内科腎臓)		辻 正富(糖尿病、内分泌)	辻 正富(糖尿病、内分泌)	伊藤英利(内科腎臓)		辻 正富(糖尿病、内分泌)
小児科	野中善治	予防接種予約のみ	野中善治	乳児検診予約のみ(新生児科)	北澤重孝		野中善治	成育外来予約のみ	野中善治	乳児検診予約のみ(新生児科)	医局員
小児科			板橋家頭夫		高野忠将		(高野忠将)		板橋家頭夫		医局員
小児科	高野忠将				京田学晃		廣畑裕子		西岡貴弘		医局員
小児外科		杉山彰英		大橋祐介		五味 明		大橋祐介		五味 明	杉山彰英(奇) 真田 裕(偶)
皮膚科(初16-3)	宋 寅傑		瀧口太造	宋 寅傑	島田洋子		瀧口太造		宋 寅傑		医局員
皮膚科(再16-1)	瀧口太造	三浦久美子	宋 寅傑	瀧口太造	瀧口太造	三浦久美子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	島田洋子	
皮膚科(再16-2)	三浦久美子	外科手術	長村蔵人	外科手術	長村蔵人	外科手術	三浦久美子	外科手術	長村蔵人	外科手術	
外科	中村明央		新井一成		新井一成		新井一成		中村明央		中村明央(奇) 新井一成(偶)
形成外科	(大塚/野田)		(大塚/野田)		大塚尚治		(大塚/野田)		野田弘二郎		野田(2.4.5週)
脳神経外科(初再診)	池田尚人(診断書外来)		医局員	当日のみ	池田尚人	退院後外来	川村典義		川村典義		川村典義(奇) 池田尚人(偶)
脳神経外科(再診)	畑山和己(予約のみ)	池田尚人(予約のみ)	医局員		川村典義(予約のみ)		桑沢二郎(奇) 予約のみ	池田尚人			池田尚人(奇) 川村典義(偶)
整形外科	医局員(初診外来)		西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	西山嘉信	医局員	逸見範幸	医局員	医局員
整形外科	松久孝行	ギブス診予約のみ	山村拓也		松久孝行	ギブス診予約のみ	山村拓也		富田一誠		医局員
整形外科	川崎恵吉		渡邊兼正		富田一誠		川崎恵吉		渡邊兼正		
産婦人科(初診12-7)	下平和久(奇)	鈴木紀雄(偶)	高橋 諄(長谷川潤一)		高橋 諄(折坂 勝)		小塚和人(下平和久)		小川公一		医局員
産婦人科(産科12-1)	長谷川潤一		小川公一		下平和久		近藤哲郎		鈴木紀雄		
産婦人科(産科12-6)	高橋 諄			特殊診予約のみ			宮本真豪			特殊診予約のみ	
産婦人科(産科12-8)	小川公一		鈴木紀雄	特殊診予約のみ	近藤哲郎		高橋 諄		下平和久		医局員
産婦人科(産科12-6)			長谷川潤一		折坂 勝				宮本真豪		
泌尿器科(初診)	佐々木春明(推木(検査のみ)予約のみ)		椎木一彦		鈴木俊一	鈴木/青木(検査予約のみ)	青木慶一郎		島田 誠	青木(検査)予約のみ	佐々木/鈴木(初)
泌尿器科(再診)	島田 誠	島田(女性外来)予約のみ	医局員		青木慶一郎		鈴木俊一		佐々木春明	佐々木(男性外来予約)推木一彦	青木/椎木(再)
泌尿器科(再診)		七条武志									
眼科	玉井裕子	特殊診(玉井)	小池正直		紀平弥生		小池正直	特殊診(小池)	紀平弥生	特殊診(紀平)	小池正直(奇) 紀平弥生(偶)
眼科	大野 淳	大野 淳	大野 淳	特殊診(大野)	玉井裕子		紀平弥生		玉井裕子		玉井裕子(奇) 恩田麻維子(奇)
眼科	恩田麻維子	恩田麻維子	恩田麻維子	恩田麻維子			恩田麻維子	特殊診(恩田)	大野 淳		大野 淳(偶)
耳鼻咽喉科13-2	門倉義幸(初診)	めまい外来再診・予約のみ	池田尚弘(初診)	アルギ-外来予約のみ	医局員(初診)		柳裕一郎		医局員(初診)	腫瘍外来(月2) 甲斐鏡外来(月1) 予約のみ	医局員(初診)
耳鼻咽喉科13-2	徳丸岳志(再診)		大嶋・五味洲(再診)	小児外来予約のみ	医局員(再診)		門倉義幸(再診)		医局員(再診)	味覚外来予約のみ	
耳鼻咽喉科13-3	柳裕一郎(再診)		柳裕一郎(再診)	小児外来予約のみ			池田尚弘(再診)				
耳鼻咽喉科13-5		補聴器外来予約のみ(奇)			補聴器外来予約のみ(偶)				補聴器外来予約のみ		

放射線治療の外来日は、月火木金： 馳澤憲二です。